

# DWS コモディティ戦略ファンド(年1回決算型)

Aコース(為替ヘッジあり)/Bコース(為替ヘッジなし)

追加型投信/内外/その他資産(商品)



月次報告書

基準日: 2020年4月30日

設定・運用: ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

## ファンド概況

Aコース(為替ヘッジあり)

基準価額・純資産総額

基準価額 7,176円

純資産総額 6.0億円

税引前分配金実績(一万口あたり)

第1期 2019年3月 0円

第2期 2020年3月 0円

第3期 - -

第4期 - -

第5期 - -

設定来累計 0円

※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

<決算日>

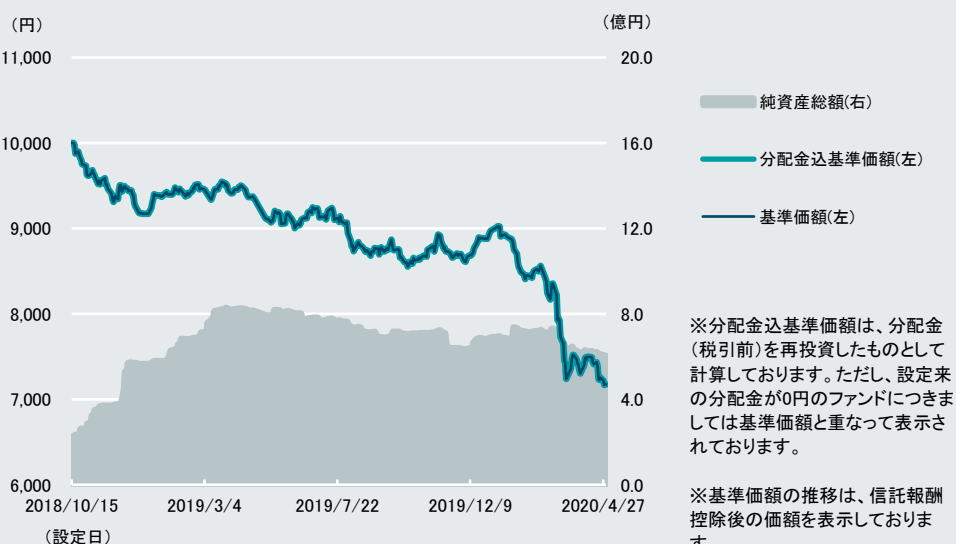
(原則) 毎年3月5日

ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日を決算日とします。

## 運用実績

Aコース(為替ヘッジあり)

設定来の基準価額の推移



## 騰落率(税引前分配金込)

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
Aコース(為替ヘッジあり)	-3.26%	-15.49%	-18.41%	-23.18%	-	-28.24%

Bコース(為替ヘッジなし)

基準価額・純資産総額

基準価額 7,056円

純資産総額 6.1億円

税引前分配金実績(一万口あたり)

第1期 2019年3月 0円

第2期 2020年3月 0円

第3期 - -

第4期 - -

第5期 - -

設定来累計 0円

※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

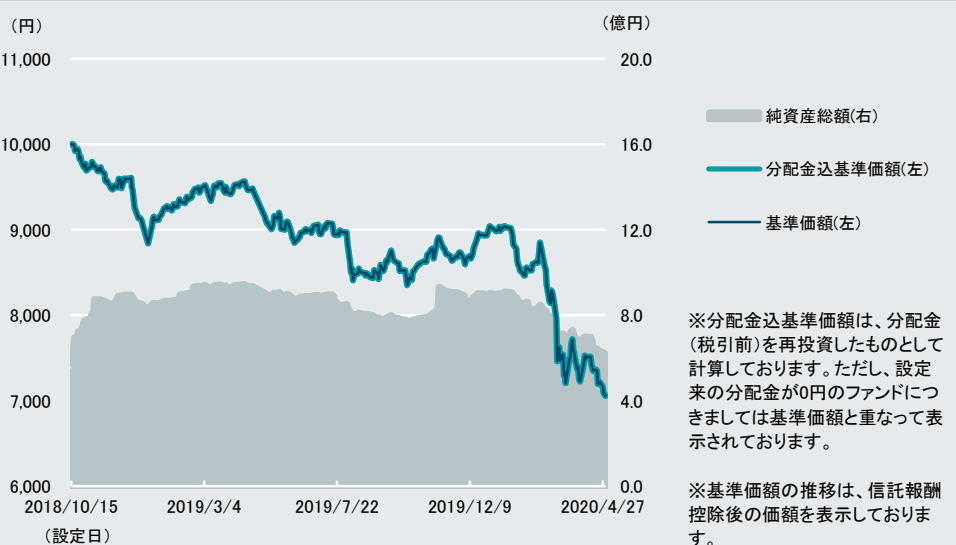
<決算日>

(原則) 毎年3月5日

ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日を決算日とします。

Bコース(為替ヘッジなし)

設定来の基準価額の推移



## 騰落率(税引前分配金込)

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
Bコース(為替ヘッジなし)	-4.26%	-17.17%	-19.63%	-25.12%	-	-29.44%

# DWS コモディティ戦略ファンド(年1回決算型)

## Aコース(為替ヘッジあり)/Bコース(為替ヘッジなし)



追加型投信/内外/その他資産(商品)

月次報告書

基準日: 2020年4月30日

設定・運用: ドイツ・アセット・マネジメント株式会社

### ファンドの組入状況(DWS コモディティ戦略ファンド(年1回決算型)各コース)

Aコース(為替ヘッジあり)		Bコース(為替ヘッジなし)		各組入比率は、各コースの純資産総額に対する比率を表示しています。
DWS インベスト エンハンス・コモディティ・ストラテジー (円ヘッジシェアクラス)	98.6%	DWS インベスト エンハンス・コモディティ・ストラテジー (円ヘッジなしシェアクラス)	97.9%	
ドイツ・円・マネー・マーケット・マザーファンド	0.2%	ドイツ・円・マネー・マーケット・マザーファンド	0.5%	
現金等	1.2%	現金等	1.6%	
合計	100.0%	合計	100.0%	

### DWS インベスト エンハンス・コモディティ・ストラテジー ポートフォリオ 及び 各戦略の投資ウェイト

	Bloomberg Commodity Index Total Return	DWS インベスト エンハンス・コモディティ・ストラテジー ポートフォリオ	エンハンス・ベータ・モメンタム戦略 コモディティ投資ウェイト	レティフ・バリュー・アルファ戦略、戦術的/ヘッジ・アルファ戦略 コモディティ投資ウェイト
農産物類	32.47%	31.92%	31.92%	0.00%
エネルギー類	20.08%	14.12%	9.65%	4.47%
産業金属類	19.01%	8.20%	9.13%	-0.93%
畜産物類	5.29%	5.10%	5.10%	0.00%
貴金属類	23.15%	8.39%	11.12%	-2.73%
合計	100.00%	67.72%	66.91%	0.81%

このコラムは、Bloomberg Commodity Index Total Returnのセクター別比率を示しています。

このコラムは、当ファンドの主要投資対象であるDWS インベスト エンハンス・コモディティ・ストラテジー内で右記の戦略(エンハンス・ベータ・モメンタム戦略、レティフ・バリュー・アルファ戦略、戦術的/ヘッジ・アルファ戦略)適用後の最終的な各セクター別比率を示しています。

このコラムは、エンハンス・ベータ・モメンタム戦略における投資ウェイト調整後のセクター別比率を示しています。

このコラムは、レティフ・バリュー・アルファ戦略、戦術的/ヘッジ・アルファ戦略におけるオーバーウェイト、又はアンダーウェイトを示しています。

※ 米ドルベース

### DWS インベスト エンハンス・コモディティ・ストラテジー ポートフォリオ 投資ウェイト 上位10銘柄

銘柄	比率
大豆	6.35%
とうもろこし	6.06%
金	5.44%
WTI原油	4.84%
天然ガス	4.78%
大豆粕	4.07%
銅	3.65%
小麦	3.58%
生牛	3.35%
コーヒー	2.91%
組入上位10銘柄合計	45.04%

※ 米ドルベース  
出所: DWS

# DWS コモディティ戦略ファンド(年1回決算型)

Aコース(為替ヘッジあり)/Bコース(為替ヘッジなし)



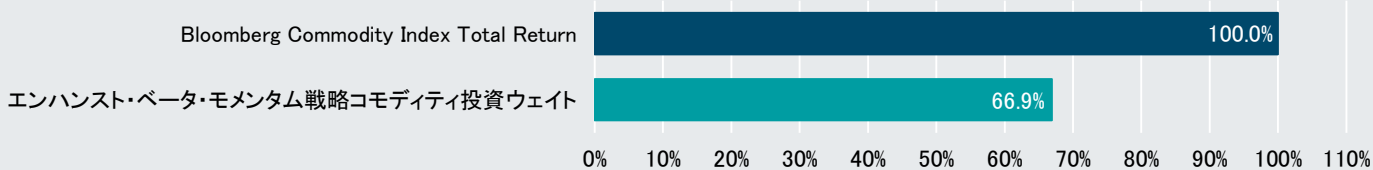
追加型投信/内外/その他資産(商品)

月次報告書

基準日: 2020年4月30日

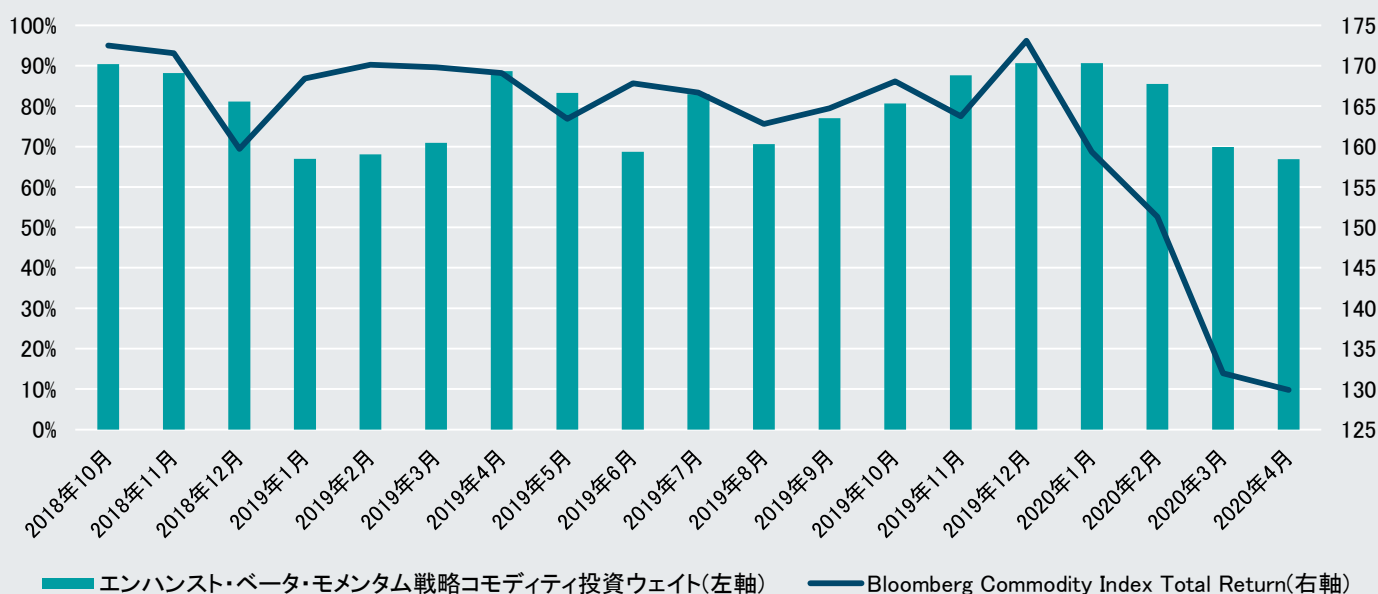
設定・運用: ドイツ・アセット・マネジメント株式会社

## Bloomberg Commodity Index Total Return及びエンハンスド・ベータ・モメンタム戦略コモディティ投資ウェイトの比較



※米ドルベース

## エンハンスド・ベータ・モメンタム戦略コモディティ投資ウェイト及びBloomberg Commodity Index Total Returnの推移

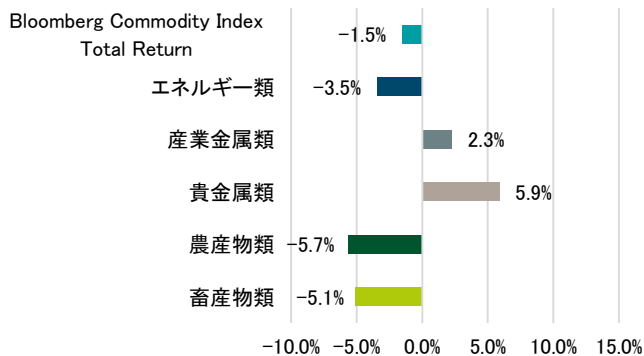


※米ドルベース

※ Bloomberg Commodity Index Total Returnは、複数の商品先物から構成され、広範に分散されたインデックスです。DWS コモディティ戦略ファンドの主要投資対象であるDWS インベスト エンハンスド・コモディティ・ストラテジーのベンチマークです。(DWS コモディティ戦略ファンドのベンチマークではありません。傾向を見るための参考値としてご参照ください。)

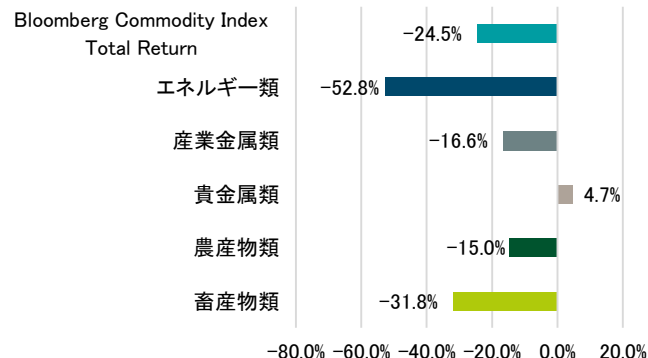
出所: DWS

## 月次騰落率



※米ドルベース

## 年次騰落率



※米ドルベース

# DWS コモディティ戦略ファンド(年1回決算型)

Aコース(為替ヘッジあり)/Bコース(為替ヘッジなし)



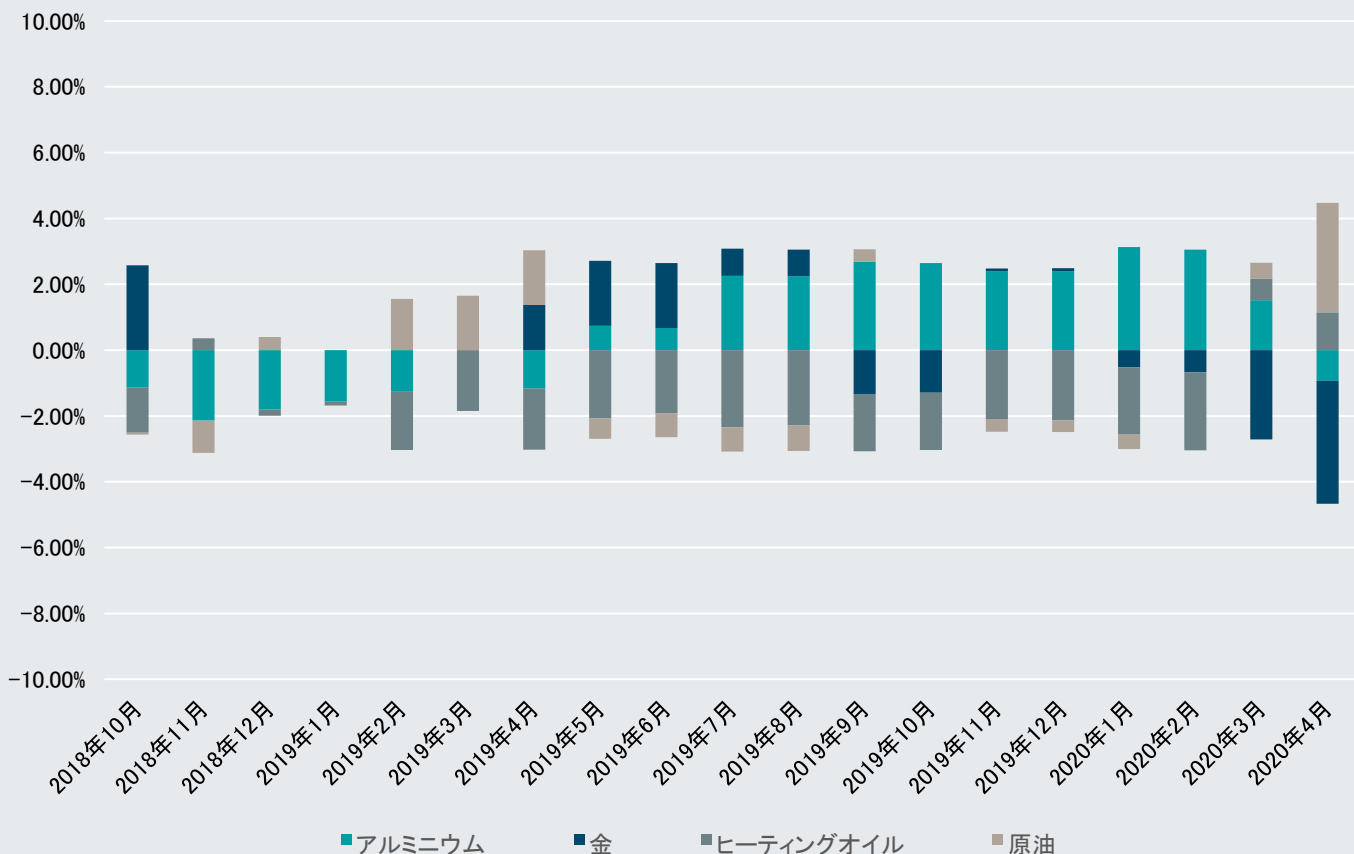
追加型投信/内外/その他資産(商品)

月次報告書

基準日: 2020年4月30日

設定・運用: ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

## レタティブ・バリュー・アルファ戦略 コモディティ投資ウェイトの推移



※ 米ドルベース  
出所: DWS

上記グラフは、レタティブ・バリュー・アルファ戦略、戦術的/ヘッジ・アルファ戦略におけるオーバーウェイト及びアンダーウェイトを示します。

## 債券運用戦略

種別	比率	属性	
米国国債	39.97%	実効デュレーション	1.43年
国際機関債等	28.74%	組入銘柄数	67
社債	24.16%		
米国政府機関債	0.00%		
現金	7.13%		
その他	0.00%		
合計	100.00%		

※米ドルベース

※四捨五入の関係で、合計は100%にならない場合があります。

定義:

・「実効デュレーション」は、当ファンドの金利変化に対する感応度を示す指標です。

・「オーバーウェイト、又はアンダーウェイト」は、セクターや銘柄の保有ウェイトをベンチマークと比較して高める、又は低めることを示します。

# DWS コモディティ戦略ファンド(年1回決算型)

Aコース(為替ヘッジあり)/Bコース(為替ヘッジなし)



追加型投信/内外/その他資産(商品)

月次報告書

基準日: 2020年4月30日

設定・運用: ドイツ・アセット・マネジメント株式会社

## ポートフォリオの組入状況(ドイツ・円・マネー・マーケット・マザーファンド)

銘柄	比率
-	-
組入銘柄数: 0銘柄	組入上位0銘柄合計 0.0%

※ 組入比率は、ドイツ・円・マネー・マーケット・マザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しています。

## ファンド・マネジャーのコメント

### 【投資環境】

#### ＜コモディティ市場全体＞

4月のコモディティ市場は全体では下落しましたが、セクターごとにまちまちの結果となりました。低金利環境の継続が予想されたことから貴金属セクターが好調であった一方、米国にて原油の貯蔵能力が限界に近いとの観測が広がり、エネルギーセクターは下落しました。また、農産物セクターはコーヒーやとうもろこしを中心に下落し、最も軟調なセクターとなりました。

#### ＜セクター別＞

エネルギーセクターは下落しました。原油価格は、OPECプラスによる大規模な減産期待が高まり月初に上昇したものの、米国の原油在庫が貯蔵能力の限界に達するとの観測から大幅に下落し、5月限の先物価格が一時史上初のマイナスとなりました。その後は、米国で掘削が減少していることや需要の回復見込みにより反発しましたが、月次では大幅に下落しました。天然ガスは、原油と同様に需要の減少は懸念されたものの、米国のシェールオイル生産量の減少が見込まれる中、シェールオイルの副産物として生産される随伴ガスの供給量も減少するとの見方が広がり上昇しました。

産業金属セクターは上昇しました。銅は、投資家心理の改善に加え、パナマにある大規模な銅鉱山で新型コロナウイルスの感染者が確認され鉱山が一時閉鎖されたことを受けて、供給懸念が広がったことが後押しとなり上昇しました。また、供給懸念や、中国でのステンレス鋼価格の回復が好感されたニッケルも上昇しました。一方で、過剰供給の懸念があるアルミニウムと亜鉛のパフォーマンスはセクター全体を下回りました。

貴金属セクターは上昇しました。金は、マクロ経済の不透明感や低金利環境の継続が好感され、上昇しました。月末にかけては、安全資産の需要低下やドル高の影響で上げ幅を縮小しました。パラジウムは、利益確定の売りにより大きく下落し、月末には南アフリカの鉱山が一時閉鎖したことによる供給懸念を背景に反発したものの、月間では下落しました。

農産物セクターは下落しました。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、綿花や、砂糖を原料とするエタノールの需要は減退し、食糧需要は増加しています。4月は、エネルギー価格との相関が強いとうもろこし、砂糖が下落しました。また、3月に大きく下落していた綿花が反発した一方で、これまで好調だったコーヒーは下落しました。

畜産物セクターは下落しました。新型コロナウイルス感染拡大を受けて今後の需要に対する懸念が高まり下落しました。豚赤身肉は、米中貿易協議の第一段階合意による恩恵を受けると考えられますが、懐疑的な見方も強くなっています。

### 【運用経過】

コモディティ市場全体に対するエクスポージャーを引き下げました。個別コモディティでは、原油や灯油、パラジウムのエクスポージャーを引き上げる一方で、アルミニウムや金のエクスポージャーを引き下げるなどしました。

### 【今後の見通し】

#### ＜コモディティ市場全体＞

コモディティは、新型コロナウイルスによる影響を大きく受ける資産クラスであり、短期的にはボラティリティの高い相場が続くと考えられますが、感染が収束した後は値を戻すことが期待されます。現状の需要低下は一時的なものであると見込んでいますが、感染状況を注視する必要があります。米中貿易協議の第一段階合意は、コモディティ市場にとってポジティブですが、中国が購入契約を実行できるかが焦点となります。さらに、米国の大統領選挙は世界の貿易に多大な影響を及ぼすと考えられます。多くのコモディティでは、供給の増加は限定的であると見込んでおり、新型コロナウイルス問題の長期化により需要が将来にわたり著しく毀損しない限りは、コモディティのファンダメンタルズは改善していくと考えています。

#### ＜セクター別＞

エネルギーセクターについては、OPECプラスの減産が決定したものの、短期的には原油価格の下落圧力は継続する見込みです。ただし、再び価格競争に陥らない限り、中長期的に改善すると考えられます。米国の生産者は、設備投資を削減しつつ、現在の設備を用いて可能な限りキャッチアップの維持を試みると考えられます。また、在庫の貯蔵能力への懸念は緩和したものの、引き続き注視する必要があります。経済活動再開の動きがありますが、需要回復の見通しは不透明です。天然ガスは、原油の掘削減少による随伴ガスの生産減少の恩恵を受けず、しかし、市場は予想を超える在庫の増加に反応し始めています。また、米国内における供給過剰懸念は後退したものの、需要の減退は大きな懸念材料となります。

産業金属セクターについては、回復の見込みはあるものの引き続き慎重な姿勢をとり、最もファンダメンタルズが良好なニッケル等を選択します。中国の在庫積み増し計画は短期的にはポジティブですが、需要が想定を下回った場合には在庫が過剰になる可能性があります。各国で経済活動の再開が近づいており、直近の上昇が持続するかを見極めるため、現物市場を注視します。

貴金属セクターについて、金はボラティリティが大きいものの、全体として良好な環境であると言えます。換金売りが一段落するとともに、ファンダメンタルズの見通しに焦点が移り、この動きが金価格を支える見込みです。また、リスクオフの環境が継続すると見られることも、金にとって追い風となります。パラジウムは、4月のボラティリティが非常に大きかったものの、新型コロナウイルス終息後に自動車業界からの需要が回復する見込みであることから、生産業者は需給の改善を見込んでいます。

農産物セクターについては、エネルギーセクターの高いボラティリティの影響を引き続き受ける見込みです。中国は、米中貿易協議の第一段階の合意内容を満たすために、購入量を引き上げました。新型コロナウイルスが引き起こした食料品のパニック買いにより、コーヒーの投機的な買いが増加したものの、在庫が積みあがっており、景気後退により需要の減退も見込まれます。

畜産物セクターについて、米国では大統領令により食肉工場の稼働が再開しており、畜産物セクターにとって追い風となります。しかし、サプライチェーン全体を見ると困難な状況が続いています。家畜の殺処分が起こる可能性があり、それに伴う畜産物の不足も考えられますが、政府による介入が畜産物市場の安定化に寄与すると見込んでいます。畜産物セクターは、エネルギーや産業金属セクターと比較すると、新型コロナウイルスの影響を受けにくいと考えられますが、需要が将来にわたって減少する可能性は留意する必要があります。

※コメントは、DWSインベストメント・マネジメンツ・アメリカズ・インクの資料をもとにしており、DWS インベスト エンハンスト・コモディティ・ストラテジーに関するものです。  
※将来の市場環境の変動等により、上記運用方針が変更される場合があります。

## ファンドの特色

- 1 ファンドは「DWS インベスト エンハンスド・コモディティ・ストラテジー」<sup>※1</sup>を主要投資対象とし、世界のコモディティ(商品)<sup>※2</sup>市場への投資を通じ、信託財産の成長を目指して運用を行います。

※1 ルクセンブルグ籍外国投資法人

※2 コモディティ(商品)とは、農産物類(小麦、とうもろこし、大豆等)、エネルギー類(原油、天然ガス等)、産業金属類(銅、アルミニウム等)、畜産物類(生牛、豚赤身肉等)、貴金属類(金、銀等)等を指します。

- 2 Aコース(為替ヘッジあり)とBコース(為替ヘッジなし)があります。

(注1) 販売会社によっては、Aコース、Bコースどちらか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せ下さい。

(注2) 各ファンド間でのスイッチングの取扱いは販売会社により異なります。詳しくは販売会社にお問合せ下さい。

- 3 ファンドはファンド・オブ・ファンズ的方式で運用を行います。

**主要投資対象である「DWS インベスト エンハンスド・コモディティ・ストラテジー」の特色は以下の通りです。**

- 主としてコモディティ(商品)市場に実質的に投資を行い、Bloomberg Commodity Index Total Returnを上回る中長期的な成長を目指して運用を行います。
- 実質的にコモディティ(商品)市場への投資効果を達成するために、デリバティブ取引等を活用し、農産物類、エネルギー類、産業金属類、畜産物類、貴金属類をはじめとする幅広いコモディティのセクターに投資を行います。
- 運用資産総額の100%を上限とし、債券、短期金融資産及び現預金等に投資する場合があります。
- 外貨建資産について、原則として円ヘッジシェアクラスは対円での為替ヘッジを行います。円ヘッジなしシェアクラスは対円での為替ヘッジを行いません。
- DWSインベストメント・マネジメント・アメリカズ・インクが運用を行います。DWSインベストメント・マネジメント・アメリカズ・インクはドイツ銀行グループの資産運用部門の米国における拠点です。グローバルなネットワークを駆使し、投資家の多様なニーズに応える商品開発と優れた運用実績の実現を目指します。

※ ファンドは、主要投資対象とする投資信託証券の他に、「ドイツ・円・マネー・マーケット・マザーファンド」にも投資を行います。

(注) 市況動向及び資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

## 投資リスク

### 基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元金が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。当ファンドに生じた利益及び損失は、すべて投資者に帰属します。基準価額の変動要因は、以下に限定されません。なお、当ファンドは預貯金と異なります。

#### ① コモディティ(商品)市場特有のリスク

コモディティ(商品)の価格は、様々な要因(需給関係や為替、金利変動等)により大きく変動します。これらの要因のうち、需給関係は、天候、作況、生産国(産出国)の政治、経済、社会情勢の変化等の影響を大きく受けます。コモディティ(商品)の価格が下落した場合は、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

#### ② 為替変動リスク

外貨建資産の価格は、為替レートの変動の影響を受けます。外貨建資産の価格は、通常、為替レートが円安になれば上昇しますが、円高になれば下落します。したがって、為替レートが円高になれば外貨建資産の価格が下落し、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。Aコースについては、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りますが、基準価額への影響がすべて排除されるわけではありません。また、ヘッジ対象通貨と円との金利差等が反映されたヘッジコストがかかり、基準価額の下落要因となることがあります。Bコースについては、原則として対円での為替ヘッジを行いませんので、基準価額は為替変動による影響を直接受けます。

#### ③ デリバティブ取引のリスク

当ファンドが主要投資対象とする外国投資信託証券では、デリバティブ取引(先物、スワップ、オプション等の金融派生商品)を活用します。デリバティブ取引の利用はヘッジ目的に限定されず、効率的な運用を目的としても用いることがあります。デリバティブ取引による運用は、原資産の価格変動・下落の影響をより大きく受けることがあり、その結果損失が発生し、ファンドの基準価額が大きく下落する場合があります。また、取引の精算に係る費用がファンドの基準価額の下落要因となることがあります。

#### ④ 信用リスク

債券価格は、発行者の信用状況等の悪化により、下落することがあります。特に、デフォルト(債務不履行)が生じた場合または予想される場合には、当該債券の価格は大きく下落(価格がゼロとなることもあります。)し、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

また、スワップ取引においては、スワップカウンターパーティの信用リスクが存在します。なお、スワップ契約の多くは契約担保の提供をスワップカウンターパーティに求める内容となっており、万が一スワップカウンターパーティが破綻しても、受け入れた担保を換金することで損失が軽減される仕組みとなっています。

#### ⑤ 金利変動リスク

債券価格は、通常、金利が上昇した場合には下落傾向となり、金利が低下した場合には上昇傾向となります。したがって、金利が上昇した場合には、保有している債券の価格は下落し、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

#### ⑥ カントリーリスク

投資対象国の政治、経済情勢の変化等により、市場が混乱した場合や、組入資産の取引に関わる法制度の変更が行われた場合等には、有価証券等の価格が変動したり、投資方針に沿った運用が困難な場合があります。これらにより、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

#### ⑦ 流動性リスク

急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に有価証券等を売買できないことがあります。このような場合には、当該有価証券等の価格の下落により、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

### その他の留意点

- 各ファンドの資産規模に対して大量の購入申込み(ファンドへの資金流入)または大量の換金申込み(ファンドからの資金流出)があった場合、基準価額の変動が市場動向と大きく異なる可能性があります。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

# DWS コモディティ戦略ファンド(年1回決算型)

Aコース(為替ヘッジあり)/Bコース(為替ヘッジなし)



追加型投信/内外/その他資産(商品)

月次報告書

設定・運用 : ドイツ・アセット・マネジメント株式会社

## お申込みメモ

申込締切時間/ 購入・換金申込 受付不可日	原則として、販売会社の営業日の午後3時までに購入申込み・換金申込みが行われ、販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分として取扱います。ただし、ルクセンブルグの銀行休業日またはニューヨーク証券取引所の休業日に該当する日には、受付を行いません。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問合せ下さい。
信託期間/ 繰上償還	信託設定日(2018年10月15日)から無期限 ただし、各ファンドについて残存口数が10億口を下回ることとなった場合、受益者のために有利であると委託会社が認める場合またはやむを得ない事情が発生した場合には、信託を終了させていただくことがあります。
決算日	原則として毎年3月5日(休業日の場合は翌営業日)とします。
収益分配	年1回の毎決算時に、信託約款に定める収益分配方針に基づいて行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。 (注)将来の分配金の支払い及びその金額について保証するものではありません。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問合せ下さい。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目から販売会社においてお支払いします。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。 原則として、分配時の普通分配金並びに換金(解約)時及び償還時の差益(譲渡益)に対して課税されます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度(NISA)の適用対象です。ただし、NISAで取り扱っている商品は販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にご確認下さい。 (注)法人の場合は税制が異なります。税法が改正された場合等には上記の内容が変更されることがあります。

## ファンドの費用

時期	項目	費用	
投資者が直接的に負担する費用			
購入時	購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に <b>3.85%(税抜3.5%)を上限</b> として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額	
換金時	信託財産留保額	ありません。	
投資者が信託財産で間接的に負担する費用			
毎日	運用管理費用 (信託報酬)	実質的な負担 (①+②)	信託財産の純資産総額に対して年率 <b>1.803%程度(税込)</b>
		①当ファンド	信託財産の純資産総額に対して年率1.243%(税抜1.13%)
		②投資対象とする 投資信託証券	信託報酬等:実質年率0.45%以内 その他の費用*:年率0.11%以内 ※信託事務の処理等に要する諸費用、管理報酬、保管報酬、租税等をいいます。
	その他の費用・手数料		当ファンドにおいて、信託事務の処理等に要する諸費用(ファンドの監査に係る監査法人への報酬、法律・税務顧問への報酬、目論見書・運用報告書等の作成・印刷等に係る費用等を含みます。以下同じ。)、租税等がかかります。また、組入ファンドにおいて、法律顧問への報酬、組入資産の売買委託手数料、対円で為替ヘッジに係る報酬、スワップ取引に係る諸費用、租税等がかかります。これらは原則として信託財産が負担します。ただし、これらの費用のうち当ファンドの信託事務の処理等に要する諸費用の信託財産での負担は、その純資産総額に対して年率 <b>0.10%を上限</b> とします。 「その他の費用・手数料」は、運用状況等により変動するものであり、一部を除き事前に料率、上限額等を表示することができません。

※収益分配金を再投資する際には購入時手数料はかかりません。

※「税」とは、消費税及び地方消費税に相当する金額のことを指します。

※投資者の首様が負担する費用の合計額については、ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## 委託会社、その他の関係法人

- 販売会社: 当ファンドの募集の取扱い等を行います。投資信託説明書(交付目論見書)の提供は、販売会社にて行います。販売会社につきましては、委託会社にお問合せ下さい。
- 委託会社: ドイツ・アセット・マネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第359号  
加入協会 日本証券業協会 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会  
信託財産の運用指図等を行います。  
ホームページアドレス <https://funds.dws.com/jp/>
- 受託会社: 野村信託銀行株式会社  
信託財産の保管・管理等を行います。

P-191115-1S

### <ご留意事項>

投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はおお客様ご自身の責任においてなさいようお願い申し上げます。

当資料は、ドイツ・アセット・マネジメント株式会社が作成した資料です。当資料記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。データ等参考情報は信頼できる情報をもとに作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料記載の内容は将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。投資信託は、株式、公社債などの値動きのある証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されるものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本及び利息の保証はありません。運用状況により、分配金が支払われないこともあります。投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険及び保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。当資料記載の個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として申し述べたものであり、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨するものではありません。ご購入に際しては、販売会社より最新の投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。



# DWS コモディティ戦略ファンド(年1回決算型)

Aコース(為替ヘッジあり)/Bコース(為替ヘッジなし)



追加型投信/内外/その他資産(商品)

月次報告書

設定・運用 : ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

当ファンドの販売会社は以下の通りです。

(五十音順)

金融商品取引業者名		登録番号	加入協会				備 考
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第44号	○		○	○	
三菱UFJ モルガン・スタンレーPB 証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第180号	○	○			